

プロジェクトのねらい

- ♪ 県民や患者が納得する医療先進県の実現
- ♪ がんにならない・負けない神奈川づくり
- ♪ 病気にならないための生活習慣の改善

救急患者が増加する中で、比較的軽症な患者が救急病院に集中するなど、地域の救急医療機関において患者を適切に受け入れることが困難になっています。一方、産科などの病院勤務医の確保は厳しく、看護職員についても今後大幅な不足が見込まれます。また、がんによる死亡は依然として増加しており、生活習慣病を減らす取組みが求められています。さらに、本県では高齢者が急増し、医療と介護の連携や病気にならない取組みなど高齢化への対応が必要となっています。

そこで、救急医療の充実や医師、看護職員などの医療人材の確保、がん対策の総合的な推進、医食農同源など病気にならない取組みを進め、県民や患者が納得する医療先進県をめざします。



モデル人形を使用した看護実習の様子

具体的な取組み

1 地域に根ざし開かれた医療の推進

- ☞ 身近な地域で適切な医療を受けられるようにするため、救急医療や小児・産科医療を行う医療機関への支援を行うとともに、地域における医療と介護の連携などに取り組みます。
- ☞ 県民が安心できる地域医療体制を整備するため、修学資金の貸付け、職員の子どもを預かる病院内保育への支援など勤務環境の改善、離職防止・再就業に向けた研修の実施など、医師、看護職員などの医療人材の確保に取り組みます。
- ☞ 患者中心の開かれた医療を実現するため、情報通信技術（ICT）を活用したカルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業や、西洋医学と東洋医学の連携などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 救急医療や小児・産科医療を行う医療機関への支援	県市町村	医療機関の整備運営への支援		
② 医師、看護職員などの医療人材の確保	県民間	修学資金の貸付け、研修などの実施		
③ ICTを活用した医療情報の共有	県民間	医療情報の共有方法の検討、モデル事業実施		

2 がん対策の総合的な推進

- ☞ がんによる死亡を減らすため、がん予防の普及啓発やがん検診の受診促進など、予防や早期発見に向けた取組みを進めます。
- ☞ がん医療の充実を図るため、県立がんセンターの整備や重粒子線治療装置の導入を進めます。また、早期診断に向けた新たな診断技術の研究開発にも取り組みます。
- ☞ がん患者が安心して療養生活を送れるようにするため、緩和ケアの推進や相談支援、情報提供など、がん患者・家族への支援に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① がんの予防や早期発見に向けた取組み	県、市町村民間	普及啓発、研修などの実施		
② 県立がんセンターの整備や重粒子線治療装置の導入	県立病院機構	工事	開院	装置据付・調整
③ がん患者・家族への支援	県民間	相談支援、情報提供などの実施		

3 医食農同源など病気にならない取組みの推進

- ☞ 若い人も高齢者も、病気にならずに元気で健康に過ごすことができるようにするため、食生活習慣の改善に向けた普及啓発や、医食農同源の考え方に立った、健康増進に役立つ食の研究や県内産農産物の活用などにより、未病を治す取組みを推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 食生活習慣の改善に向けた普及啓発や医食農同源の取組み	県	普及啓発、研究などの実施		